

中小企業地域資源活用促進法に基づく



わが市町村の  
ふるさと名物は  
これ！

ふるさと名物

Furusato Meibutsu

愛知県高浜市  
が応援するふるさと名物

- 高浜市役所（地域産業グループ）
- 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2
- 0566-52-1111

～日本を創る・飾る・魅せる～

「三州瓦」



# 応援宣言！！

## 地域のプロフィール

平成27年9月18日

### 愛知県高浜市

高浜市は、愛知県三河地方の南部、中部圏の中核都市である名古屋市から南東へ25kmに位置する総面積13.11km<sup>2</sup>の小さなまちです。三河地方は、日本のものづくり拠点として大きな役割を担っていますが、高浜市も同様に2次産業（製造業）が占める産業別就業割合が日本一である「ものづくりのまち」です。中でも建物を守る屋根材「瓦」の製造業が盛んなまちで、37事業者が瓦の製造を行っています。また、多くの事業者が瓦を製造するのに必要な白地や釉薬等の製造、瓦屋根葺工事を行っている「瓦のまち」です。高浜の瓦の歴史は長く、一般住宅の屋根材として瓦が使われるようになった1700年頃まで遡ります。良質な粘土が採取でき瓦を運搬するのに必要な良港に恵まれたことを活かし、大都市であった江戸に販路を拡げたことで瓦産業が栄え始めました。そして、この地方の旧国名「三河（三州）」に由来した「三州瓦」としてブランドの確立がなされ発展を成し遂げました。また、三州瓦は、瓦を飾る鬼瓦と共に、多くの全国の社寺仏閣でも使用され、和の風景・日本の伝統文化を継承しています。現在、三州瓦は、瓦生産シェア70%を誇っています。三州瓦は高浜の自慢です。三州瓦は、地域から愛され続けています。



ふるさと名物  
Furusato Meibutsu



# ふるさと名物の内容

## ■ ~いつまでも快適な住まいを~安心、安全、快適屋根材「三州瓦」

三州瓦は日本の美しい風景を彩る代表的な屋根材ブランドです。三州瓦の美しさの秘密は、陶器と同じ、製造時の仕上げの段階で使われる釉薬によるものです。釉薬を塗られた瓦は、1130℃の高温で焼きしめられ、ガラス質の様々な美しい色に仕上がります。一方、いぶし瓦は焼成の最終工程で“いぶし”と呼ばれる燻化（くんか）を行い、銀色の炭素膜を形成させ、渋い銀色の光沢と清楚な美しさが住まいの風格を高めます。和風住宅に欠かせない、いぶし瓦は、日本の原風景ともいべき葺の波の美しい景観をつくっています。そして、春夏秋冬、四つの季節がハッキリと見られる日本の自然の美しさは、世界でも稀に見る多様な文化を育んできました。三州瓦は、地域によって様々な異なる風土に合わせ、それぞれの暮らしを守るために技術革新を重ねてきた歴史を持っています。日本の数百年の厳しいチェックを受けてきた地域ブランド、それが三州瓦です。



ふるさと名物  
Furusato Meibutsu



# ふるさと名物の内容

## ■ 高浜を繋げる「三州瓦」

### 「三州瓦」が繋げる「鬼みち」「三州瓦シャモット」

三州瓦の栄えた高浜台地には、高浜の瓦の歴史を肌で感じることができる散歩道「鬼みち」があります。このみちは、瓦の輸送が海運から鉄道に移った頃に作られ、沿道に、多くの歴史ある鬼瓦、現代の鬼瓦モニュメントが多く飾られ三州瓦で溢れています。また、鬼みちの途中には、「かわら美術館」もあり瓦の文化にもふれることもできます。そして、四季を愉しめるコースでもあることから市内外の皆様から愛されています。また、「鬼みち」や高浜を盛り上げるため、市内の小学生等と一緒に瓦ランプシェードを製作し夜間にライトアップ等を行うイベント「鬼みちまつり」を毎年開催しています。そして、三州瓦の廃材を活用した新たな取り組みも動き始めています。三州瓦のリサイクル資材「三州瓦のシャモット」は、再生骨材としての販売のほか、土木材料として液状化対策、ヒートアイランド対策、防草対策等への可能性を追求しています。地域から愛されている三州瓦は、屋根材としての魅力だけではなく高浜の文化や観光、そして新たな資源などとして、地域への活力を還元する大きな役割を担っています。



ふるさと名物  
Furusato Meibutsu



# 市の取り組み

## ■ 三州瓦の利用促進・技術発展等に向けた市独自の取り組み

三州瓦は日本の伝統的な屋根材として認知され評価を受けています。しかしながら、時代の変化により住宅着工件数の減少、他の屋根材の攻勢により三州瓦の生産枚数は減少しています。このような状況下、高浜市では三州瓦の良さを知っていただき、住宅に利用していただくため、三州瓦屋根工事奨励補助金制度等を制定し利用促進に努めています。また、愛知県陶器瓦工業組合等の瓦産業団体と連携を図り、販売促進等の支援を図っています。そして、鬼瓦を製作する職人（鬼師）の技術発展、伝統文化継承に対する支援強化も努めています。

## ■ 高浜市みんなで三州瓦をひろめよう条例制定

高浜市では、三州瓦が郷土の産業であることに誇りを持ち、三州瓦の積極的な利用を務めることが、窯業及び伝統文化に対する理解の増進並びに伝統技術の継承に繋がり、三州瓦の振興を通じた地域経済及び地域社会の活性化を推進するものだと考えます。そのためには、市、議員、事業者の役割、そして市民の協力を得て、地域ぐるみで三州瓦を応援する理念条例「高浜市みんなで三州瓦をひろめよう条例」を制定しました。



ふるさと名物  
Furusato Meibutsu

